

「生命（いのち）の安全教育」実践報告書

活動名	知っておこう！わたしたちの体について		
学校名	座間養護学校		
学年	高等部（有馬分教室）全学年	人数	39人
日時	令和4年12月14日（水）12：40～13：30		
取扱いの分類	保健体育		
講師	担当（保健体育）の教員		
学習のねらい	性に関する正しい知識を身につけ、現在及び将来の生活において直面する性に関する諸問題に対し、適切な意思決定や行動選択ができるような力をつける。		
内容	<p>※3学年を縦割りにした、男子2グループ、女子1グループに分かれる。共通資料（教員の自作教材）を使用し、各グループの実態に応じた学習を行う。</p> <p><はじめ> これまでの学習を振り返り、第二性徴や男女の違いについて、教員の自作教材やクイズ等を通して確認する。</p> <p><なか> 性行為や妊娠の仕組みについて、教員の自作教材を通して学ぶ。また、どのような行為が性犯罪に該当するのかを知り、加害者にも被害者にもならない行動選択を理解する。</p> <p><まとめ> 男女の性の違いや、望まない妊娠と性感染症を避けることについて知るとともに、互いを尊重することの重要性を理解し、社会的自立に向けた力を身につける。</p>		
成果	教員の自作教材を用いることや、わかりやすい用語で説明することで、生徒が男女の違いや妊娠の仕組みについて理解することができた。また互いを尊重する重要性に意識を向けることができた。		
課題	自己の性についての認識や他者への認識を深めることができるように、全教育活動を通して、繰り返し指導をすることが必要である。		
性に関する指導の手引き参考箇所	知的障がい者を教育する特別支援学校における性に関する指導の実施上の配慮事項		

【使用教材の一部】

ちがい

男の気持ち

- 好きな子のことばり考える。
- エツられ
- 性行為がしたい
- がある。
- キスや性行為をしなくなる。

女の気持ち

- 彼氏がないのは
- か
- 性行為はしたくないでも、好きだからことわれない
- 彼の
- 断るときらわれるのがこわい。

ちがい

性犯罪って？

× ○

- 勝手に体をさわる ○(性犯罪)
- むりやりキスをする ○(性犯罪)
- 「好きです」と自分の気持ちを伝える ×(性犯罪ではない)
- おたがいに好きで、手をつないで歩く ×(性犯罪ではない)
- むりやり性行為をする ○(性犯罪)
- エスカレーターでスカートの中を盗撮する ○(性犯罪)
- つねにじろじろ見ている ○(性犯罪)

性加害

性被害

男女ともあり